

日本文学选读试题

课程代码:00612

请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。

选择题部分

注意事项:

1. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。
2. 每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

一、次の文章を読んで、次の問に答えなさい。(24%)

文章 I

やがて、火は衰えました。熱い空気も空に吸われ、炎上の煙は風にはらわれて、青空がのぞきました。「お母さん」カッチちゃんも、ようやく①人心地を取り戻し、自分に覆い被さっているお母さんの体をゆすってみました。お母さんの体は、たわいなく横に落ち、それもそのはず、体じゅうの水分をあたえつくしたお母さんの体は、干物のように②ぺったんこになっていたのです。

空襲の後には、いつも強い風が吹き荒れます。お母さんの体は、風にふき起こされ、ふわっと飛びました、「お母さん、どこへ行くの？」カッチちゃんがびっくりしてたずねると、お母さんはふだんと同じ顔でニクク笑います。カッチちゃんは安心して後について行くうちに、急に強い風がふいて、お母さんの体はすいっと宙に浮き、どんどん高く昇って、「お母さん」カッチちゃんが呼ぶと、その都度振り返りつつ、お母さんの体は凧のように、炎上の後の空に吸われ、天女のように舞いながら、(③) 見えなくなっていました。

カッチちゃんは待ちました。お母さんはきつと戻ってくる、おなかも減ったし、のどもかわいたけど、お母さんが凧のように舞い上がった所から一步も動かず、うずくまって待ちました。④べつにさびしくはありません、いつも空の上でお母さんが見ていてくれるように思えたし、お父さんが戦地へ出かけるとき「強い子になるんだよ」と言った言葉も、お母さんから聞いて知っています。

八月十五日、終戦の詔勅が、焼跡の上を流れる少しまえ、カッチちゃんの痩せ衰えた体も、風に吹かれて、空に舞い上がりました、お母さんがむかえに来てくれたのです。(⑤) 二つの凧のように、お母さんとカッチちゃんは、真夏の太陽のかがやく空いっぱい、羽ばたき舞い踊りながら、どんどん高く昇っていきました、焼跡をはるか下に見下ろして。

『凧になったお母さん』

1. ①人心地の意味は次のどれですか。(1点)

- A 他人の心 B 心と地面 C 心の底 D 生きた心地

2. ②ぺったんこの意味は次のどれですか。(1点)

- A 押しつぶされて平たくなったさま
- B ひどく疲労するさま
- C 人に知られないように、ひそかに物事をするさま
- D 物にすっかりおおわれるさま

3. (③) に適当な言葉を入れなさい。(2点)

- A それから B やがて C とにかく D そのうえ

4. 「④べつにさびしくはありません。」と書いてあるが、それはなぜか。(2点)

- A お母さんが凧のように舞い上がったから
- B お父さんが凧のように舞い上がったから
- C いつも空の上でお母さんが見ていてくれるように思えたから
- D いつも空の上でお父さんが見ていてくれるように思えたから

5. (⑤) に適当な言葉を入れなさい。(2点)

- A はたして B まるで C ところが D とても

文章Ⅱ

極端に言えば、絵や音楽を、わかるとかわからないとか言うのが、もう間違っているのです。絵は目で見て楽しむものだ。音楽は、耳で聞いて感動するものだ。頭でわかるとかわからないとか言うべき筋のものではありません。まず、何をおいても、見ることです。聞くことです。そう言うと、そんなことはわかりきった話だ、と諸君は言うでしょう。ところが、私は、それは (①) わかりきった話ではない、諸君は、おそらく、そのことを、よくよく考えてみたことはない (②) と言いたいのです。

昔の絵は、見ればよくわかるが、近ごろの絵は、たとえば、ピカソの絵を見ても、何が何やらさっぱりわからないと、諸君は、やはり言いたいでしょう。それなら私は、こう言います。諸君が、昔風の絵を見てわかるというのは、③そういう絵を、諸君の目が見慣れているということでしょう。ピカソの絵がわからないというのは、それが見慣れぬ形をしているからでしょう。見慣れてくれば、諸君は、もうわからないなどとはいわなくなるでしょう。だから目を慣らすことがだいじだということです。

『美を求め心』

6. (①) にどの言葉をいれたらいいか。(2点)

- A ちっとも B はたして C なんでも D なにより

7. (②) にどのかなをいれたらいいか。(2点)

- A だろう B なろう C しよう D とろう

8. ③そういう絵はどんな絵か。(2点)

- A 近ごろの絵 B 昔風の絵 C 諸君の絵 D これからの絵

9. ピカソの絵がわからないというのはなぜか。(2点)

- A 見慣れているから
- B 見慣れていないから
- C 見ているから
- D 見ていないから

非选择题部分

注意事项：

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上，不能答在试题卷上。

文章Ⅲ

①弥生も末の七日、明ぼの空朧々として、月は在明にて光おさまれる物から、②不二の峰幽にみえて、上野・谷中の花の梢、又いつかはと心ぼそし。むつまじきかぎりには③宵よりつどひて、舟に乗て送る。千じゅと云所にて船をあがれば、④前途三千里のおもひ胸にふさがりて、幻のちまたに離別の涙をそそぐ。

行春や鳥鳴魚の目は涙

⑤是を矢立の初として行道なをすすまず。

人々は途中立ならびて、後かげのみゆる迄はと見送なるべし。

『旅立ち』

10. 「①弥生」は何月の異称か。(1点)
A 陽暦の四月 B 陽暦の三月 C 陰暦の四月 D 陰暦の三月
11. 「②不二の峰」はどの山の峰か。(1点)
A 富士山 B 和歌山 C 岡山 D 出羽三山
12. 「③宵」と「⑤是」それぞれなんと読むか。(1点×2=2点)
13. 「④前途三千里のおもひ」はどういう意味か。(2点)
14. この文章の作者は誰か、A、B、C、Dから一つ選びなさい。(2点)
A 吉田兼好 B 松尾芭蕉 C 藤原俊成 D 堀辰雄

二、次の傍線部の漢字をひらがなで書きなさい。(10% 1×10)

15. 文学者はもともと精神の束縛を持たぬ自由人でなければならない。
16. そしてこれらに糧を与え、これを養成するものが、ほかならぬ文学である。
17. 彼女は僕に未練があったが、それ以上に、私は彼女に未練があった。
18. 現代はみな不本意に生き、不本意に死んで行っているように思われる。
19. なるほど、日本の音楽は知的作用を隔絶した世界である。
20. わきが玄関の屋根で、それが家へ接続する所が羽目になっている。
21. まあ！いやらしい。この子は色気づいたんだよ。
22. 久しぶりに見る外部の人間は生硬な感じで悪くなかった。
23. たしかに砂漠は、青山的な私にとって衝撃そのものだった。
24. あるいは楯を持っていただろうか？

三、次の傍線部の仮名を漢字で書きなさい。(10% 1×10)

25. もうすっかりひとのけはいもなくなった大覚寺の門前を通り過ぎる。
26. 互いに傷つけ合い、罵り合い、じゃくてんをあばき合った。
27. 母の芸熱心に対して、父はげいごとに無関心な技術屋だとばかり思っていた。
28. 公園の立ち木も、木の姿なりに、ほのおを満開の花のごとくつけているのです。

29. かれはよゆうに満ちてその男と母親とを見つめた。
30. 若さがどんな苦境もこくふくしていこう。
31. 若い女のずきんの鮮やかさ。
32. そのひとことで彼女は今の暮しを手に入れた。
33. いいどころか、むしろどくぜんてきである。
34. 私の頭はかいこんに揺られてぐらぐらしました。

四、穴埋め (10% 1×10)

35. 清岡卓行、中国遼寧省大連に生まれた。詩人、() 家。主な作品に、詩集『氷った炎』『一つの愛』、小説『アカシアの大連』『海の瞳』、評論『抒情の前線』などがある。『アカシアの大連』で第 52 回 () を受賞した。『ミロのヴィーナス』は () による文章である。
36. 『美しい別れ』の作者は () である。小説家。() 選考委員。医学博士。中学時代から短歌に親しみ、のち医学と () を志す。
37. 「真っ暗ななかで少年の体温に温まりながら、私は涙をしまかせにしていた。」という文は (『)』という文章から抜き出されたのである。その作者の名前は () である。
38. 松尾芭蕉は俳人である。著書に (『)』 (『)』 などがある。

五、次の内容を簡単に解釈しなさい。(20% 5×4)

39. 『枕草子』
40. 『徒然草』
41. 大江健三郎
42. 湯川秀樹

六、論述 (26% 13×2)

43. 川端康成の作品の一つについて述べなさい。(次の内容を含むこと：①作品のあらすじ②その作品への自分の考え)
44. 「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰のことがわりをあらはす。」は『平家物語』からの語句である。これらの文を口語に訳しなさい。また『平家物語』について述べなさい。